

## 国際化学肥料ニュース (2010年11月)

### 肥料業界の2010年11月動態

- \* ウィンに開かれた FMB の会議において、加里肥料に対する予測が発表された。穀物等の価格上昇に伴い、加里肥料の販売による影響を及ぼすと考える需要家と生産者が増えた。一部の商社はすでに来年1~3月の加里肥料を手配済み、生産者が来年1月の注文を受付けしないとの噂もある。

カナダの Potash Corp 社はアメリカ市場に大粒塩化加里の価格が 75 ドル/トン値上げされ、515 ドル/トンに達したことに不快感を表した。急速の値上げは客離れを引起す恐れがあると警戒する。Potash Corp 社は第3四半期に史上2番目の高い純利益が計上された。また、世界の加里肥料需要量は2011年に5500~6000万トンになるとの予測も発表された。

- \* カナダの Canpotex 社はインドの大手商社 CIL との間に塩化加里の長期契約を締結した。契約内容は2011年4月から2016年3月までの5年間、Canpotex 社が毎年インドに50万トン以上の塩化加里を供給するものである。

- \* ブラジル2010年の化学肥料の国内需要量は2350万トンを超え、2400万トンに達する見通しになった。2010年1~9月、化学肥料の販売数量が1670万トンに達し、2009年同期の1600万トンより4.4%増えた。その内訳は窒素肥料が4.6%増、りん酸肥料が7.0%減、加里肥料が20.4%増。また、1~9月の化学肥料輸入量が1070万トン、昨年同期より280万トン多い。化学肥料の輸入内訳は硫安114.6万トン、硝安63.4万トン、尿素159万トン、DAP32.7万トン、過りん酸石灰18.8万トン、塩化加里447.9万トン。なお、10~12月の化学肥料輸入量は350万トンと予測する。

合計41の貿易会社がブラジルに化学肥料を供給する。大手15社が輸入化学肥料の80%を供給している。その中、Trammo社は17.8%、OCP社は16.9%、BPC社は13.1%、Canpotex社は9.3%、K+S社は6.7%のシェアを持っている。

- \* 農産物の価格上昇を受け、フランスは1~9月に33.3万トンのDAPを輸入し、昨年同期より17.9万トン多い。2010年に40万トンの輸入量を予測する。

- \* BPC社は11月8日から塩化加里の販売価格を引き上げることを発表した。理由は作物の販売価格上昇により、加里肥料の需要が旺盛である。FOB価格はアジア向けの標準塩化加里が405ドル/トンから430ドル/トン、粒状塩化加里が420ドル/トンから450ドル/トン、ブラジル向けの粒状塩化加里が410ドル/トンから440ドル/トン(大口需要家)、420ドル/トンから450ドル/トン(小口需要家)に値上げすることを通告した。

## 大手各社の営業業績

- \* 農産物の価格上昇により、世界範囲における肥料の需要回復、肥料価格の上昇が大手肥料メーカーの業績にいい影響を与えた。11月に発表された大手肥料会社の営業業績は次の通りである。

ドイツ K+S 社は第3四半期の粗利益 1.085 億ユーロ、営業利益 7680 万ユーロ、税引き後の純利益 4040 万ユーロに達した。今年 1~9 月の売上高は 10.6 億ユーロ、昨年同期より 52%増えた。

アメリカりん酸肥料大手の MissPhoss 社は、第3四半期の売上高は 7040 万ドル、純利益 250 万ドル。今年 1~9 月売上高 1 億 9256 万ドル、純利益 21.1 万ドル。昨年同期は 1073 万ドルの赤字。

ブラジルの肥料大手 Heringer 社は、1~9 月に 170 万トン肥料を輸入し、300 万トン肥料を販売したが、赤字 3060 万ドル。

カナダの Agrium 社は、第3四半期の純利益 5700 万ドル、昨年同期より倍増した。1~9 月、売上高 81.7 億ドル、営業利益 5.56 億ドル。最大の利益源は塩化加里で、145 万トンも販売した。

ブラジルのヴァーレ社の子会社ヴァーレ肥料は、1~9 月の肥料販売量は 240 万トン、売上高 19 億リアル、純利益 1.39 億リアル、昨年同期は 4000 万リアルの赤字。

ウクライナ最大の尿素メーカー OPZ は、ロシアからの天然ガス値上げと供給問題、国内鉄道運賃値上げ等により、第3四半期に 2340 万ドルの赤字を出した。1~9 月が 1830 万ドルの赤字になった。当社はウクライナに 2 セットのアンモニア合成装置と尿素生産装置を持ち、年間 110 万トンアンモニアと 90 万トン尿素的生産能力を有する。

ノルウェーの Yara 社は、第3四半期に尿素 102.1 万トン、硝安 154.8 万トン、化成肥料 169 万トンを販売した。売上げ高 30.75 億ドル、純利益 4.27 億ドル、昨年同期より 190%増加した。1~9 月の税引き後純利益は 12.3 億ドル。

ベラルーシ統計局のデータによれば、1~9 月ベラルーシの化学肥料生産量は 475 万トンに達した。内訳は塩化加里 403.6 万トン、りん酸肥料 14.7 万トン、窒素肥料 56.65 万トン。

## 11 月の大口契約と輸出：

- \* 世界市場はりん安の需要が高くなって、価格はうなぎ登りであった。

11 月モロッコ OPC 社はチュニジアから FOB570 ドル/トンの価格で 3~4 万トン DAP を購入し、590 ドル/トンで転売を目論んでいる。11 月中旬、バルト海と黒海 DAP の FOB 価格が 575~590 ドル/トンに達した。主犯は Eurochem 社である。該社は FOB575 ドル/トンの価格で DAP を 1.5 万トンアメリカに、1.5 万トンカナダに、FOB577 ドル/トンで 2.5 万トンをラテンアメリカに輸出した。また、FOB575 ドル/

トンで MAP2.5~3 万トンをラテンアメリカに、FOB585 ドル/トンで 1 万トンをアメリカに輸出した。

OCP は FOB577 ドル/トンで DAP3 万トンと MAP2 万トンをブラジルに輸出した。

- \* アメリカりん酸協会は FOB582 ドル/トンで 7 万トン DAP をメキシコに輸出、来年 1 月からの商品については FOB600 ドル/トンを提示した。9 月にアメリカ DAP 輸出量は 36.7 万トン、内訳がインド 31.6 万トン、日本 2.2 万トン、メキシコ 1.2 万トン。
- \* アジア地域では、チュニジアの GCT はバングラデシュに 5 万トン DAP 及び不明量の重過石を輸出した。インドはりん安の価格高騰を恐れ、2011~2012 年の DAP 輸入商談を前倒し来年 1 月からと発表した。
- \* IPC はベトナムに 3 万トン塩化加里を輸出した。
- \* 中国税関の統計によれば、7~9 月に化学肥料 562.1 万トン輸出し、通関金額は 19.1 億ドルに達した。1~9 月に 938.5 万トン輸出し、昨年同期より 63.3%増、通関金額 30.8 億ドル、昨年同期より 81%増。内訳は尿素 369.1 万トン、10.4 億ドル、平均価格 283 ドル/トンである。国別ではインド 81.4 万トン、アメリカ 54.9 万トン、バングラデシュ 34.2 万トン  
1~9 月の DAP 輸出量 279 万トン、金額 13 億ドル、平均価格 465.9 ドル/トン。国別ではインド 186 万トン、ベトナム 22.5 万トン。  
1~9 月の MAP 輸出量 65.8 万トン、金額 2.5 億ドル、平均価格 387 ドル/トン。国別ではインド 18.6 万トン、ブラジル 12.8 万トン、オーストラリア 7.4 万トン、アルゼンチン 7.3 万トン。
- \* 11 月 21 日、ヨルダン APC 社は中国化学のマカオ子会社との間に 2011~2013 年の塩化加里売買契約を締結した。中国化学が APC の中国独占代理人として 3 年間で計 180 万トン塩化加里を購入し、価格は 6 ヶ月ごとに決めるという契約内容である。
- \* イラン ASSC は 11 月 20 日に 21 万トン重過石、9 万トン DAP の入札を行い、来年 3 月まで納品要求。
- \* チュニジア GCT 社は 11 月に FOB575~580 ドル/トンでヨーロッパに 2.5 万トン DAP を輸出した。同じヨーロッパに 12 月に 5~7 万トンの DAP 契約が残っている。また、トルコに 32 万トン DAP の輸出が完了した。

- \* バングラデシュ BCIC が 10 月 26 日行った尿素の落札者が判明した。  
Wilson、 12.5 万トン小粒尿素、CFR389.27 ドル/トン  
Desh Trading、12.5 万トン大粒尿素、CFR417.70 ドル/トン  
Honeybee、 12.5 万トン小粒尿素、 CFR390.00 ドル/トン  
Desh Trading、12.5 万トン大粒尿素、CFR425.70 ドル/トン  
尚、BCIC11 月 2 日に行った入札の落札者はまだ公表されていない。

### 肥料プラント新規建設

- \* パキスタン Engro 社は南部のシンド州に建設中のアンモニアと尿素工場が来年 1 月生産開始と発表した。生産能力はアンモニア 74.5 万トン/年、尿素 130 万トン/年。
- \* ベラルーシ BPC 社は 2.9 億ドルの資金を投じて、第 5 と 6 号加里鉱山の開発を加速する。BPC はベラルーシ国営企業で、4 つの加里鉱山を有し、従業員 2 万人、現在生産能力塩化加里 820 万トン/年。2015 年に新規 2 箇所の鉱山が完成する場合、BPC 社の生産能力は 965 万トン/年に達する。
- \* インドのタタ化学は化学肥料に力を入れている。11 月にインド北部 Babrala 尿素工場の増設工事が終了し、生産能力を 2 倍に、年間 120~125 万トンに達する。また、西ベンガラ州にもう一つの年間 13 万トンの化成肥料工場を建設すると発表した。当地にすでに 13 万トンの化成肥料工場を所有している。一方、Haldia に三番目の工場を建設する計画も発表した。Haldia にはすでに 40 万トン/年の DAP 工場と 27 万トン/年の化成肥料工場があり、新工場は 30 万トン DAP/年を生産する予定、必要なりん酸はモロッコにある合弁企業 Imacid 社から調達する。
- \* インド政府とシリア政府がシリアでりん酸肥料を生産する協力協定を締結した。シリアには確認されたりん酸塩鉱石の埋蔵量が 4.24 億トン、P2O5 換算で 131.44 万トンに相当する。協定ではインド 3 つの国有企業とシリア国有企業 Gecopham 社が合弁会社を設立し、りん酸肥料を生産する内容。
- \* ブラジルヴァーレ社がりん酸及びりん酸肥料の生産に力を入れている。今年 1~9 月に計 5.26 億リアルを投資した。2011 年 5 月 Minas Gerais 州に新しいりん酸肥料工場を生産開始させる。生産能力は年間 23 万トンりん酸、48.1 万トン硫酸、50 万トン MAP と重過石。また、Salitre プロジェクトも 2011 年の投資計画に組み込まれた。当該プロジェクトは年間 250 万トンりん酸の採掘、140 万トン硫酸製造設備、56 万トンりん酸製造設備、120 万トン重過石、DAP、MAP 生産設備を計画している。2013 年 8 月からりん酸の採掘、2013 年 12 月からりん酸やりん酸肥料生産が始まる。

## その他

- \* 中国国務院関税税則委員会が 11 月 29 日付けで税関総署に通告し、中国国務院の許可を得て、2010 年 12 月 1 日から 12 月 31 日まで、尿素、リン酸第二アンモニウム (DAP)、リン酸第一アンモニウム (MAP) 及びリン酸第二アンモニウムとリン酸第一アンモニウムの混合物に 35% の暫定輸出関税を徴収し、同時に 75% の特別輸出関税をも徴収する。12 月 1 日前に輸出申告し、かつ 3 日以内に税関管理地域に移送された上記の化学肥料については、元の輸出関税を適用することができる。

2011 年 1 月以降の尿素、DAP、MAP 輸出関税については、中国政府がまだ表明していないが、情報筋によれば、次の内容のようである。

尿素： 2011 年 1 月～6 月 30 日、11 月 1 日～12 月 31 日に需要期の 110% 関税、7 月 1 日～10 月 31 日に非需要期関税 (7%) が適用される。基準価格が現行の 2300 人民元/トンから 2100 人民元/トンに引下げる。

りん安 (DAP、MAP)： 2011 年 1 月～5 月 31 日、10 月 1 日～12 月 31 日に需要期関税 110% が、6 月 1 日～9 月 30 日に非需要期関税 (7%) が適用される。基準価格が DAP3400 人民元/トン、MAP2900 人民元/トンに引下げる。

他の化学肥料 (重過石、過石、熔りん等) については、現行の 7% 輸出関税が引き続き適用される。

輸出関税の正式発表は 12 月中旬～下旬に想定される。

- \* カナダ政府の反対により、BHP ビリトンは 11 月 15 日にカナダの Potash Corp 社の買収から正式に撤退すると表明した。今年 8 月、BHP ビリトンは突然、Potash Corp 社に対して買収を表明したが、Potash Corp 社の経営陣の買収反対表明を受け、株主に直接 386 億ドルの買収金額を提示したのが発端であった。11 月 3 日、カナダ政府が買収に反対表明をしてから、BHP ビリトンも撤退を余儀なくされる。なお、この買収に BHP ビリトンがすでに 3.5 億ドルの経費を使った。
- \* ドイツの K+S 社は 3.11 億ユーロでカナダの中堅加里会社 Potash One 社を買収する。Potash One 社はカナダの Saskatchewan 州に数箇所の加里鉱山開発権利を所有し、買収後、約 25 億ドルを投資し、2015 年には生産開始、最大年間 270 万トン塩化加里の生産能力と計画している。
- \* ロシアの Uralkali 社は 11 月 15 日に、2011 年上半期のロシア国内向けの塩化加里価格を据え置きと発表した。現在、Uralkali 社の国内農家への直販価格は 4250 ルーブル/トン (約 140 ドル/トン)、国際市場価格より極端安い。